

大北地域タウンミーティング 2018

「あなたの出番がここにある！
地域があなたを待っている！」

2018年11月7日(水)
長野県大町合同庁舎 講堂

何か地域でできる活動を始めてみたいシニアの皆さんと、実際に活動している様々な団体やグループが一同に集まり交流することで、新たな出会いやそのきっかけづくりとなるイベント「タウンミーティング」を開催しました。



出店は大北地域や安曇野市から12ブース。居場所、自治会活動、ボランティア、農業、就労、福祉、地域づくり等、多岐にわたります。メンバーを募集して活動の幅を広げる団体、地域に新しい取り組みが広がるよう活動を紹介する団体と目的はそれぞれですが、一様に熱い思いで活動をされる皆さんが集いました。



団体の紹介が終わった後、参加者は各ブースに足を運び、話を聞きました。

「遊びに来とくれや」(団体の活動先に)
「どこでやってるだい？」

こんな気軽な会話から、活動の説明を聞き、質問や感想をはさみながら会話がはずみます。



会場は皆さんの熱気に包まれ、

「いい活動だね」

「私もやってみたいな」

そんな声が、あちこちから聞こえました。



参加者は、いいね！と感じたことや、心を動かされたこと等を付箋に書き、団体ののぼり旗へ張っていきます。



中にはその場で団体に入会された方や、活動の見学に行こうと決めた参加者もいらっしゃいました。

出店の団体間でも交流があり、連携が出来そうだ、前から考えていた連携事業を自信持って進めれる、との感想もありました。

ひと段落したところで「大町おどり」を参加者全員で体験しました。(講師はゆずり葉の会さん)動きはシンプルですが、続けると少し息があがる、心地よい運動量でした。

最後に、団体ののぼり旗に沢山張ってくださった付箋をもとに、全体でまとめをしました。

皆さんからいただいた感想をまとめると、こんなことが分かってきました。



活動は人が持つ「思い」からはじまります。それは「心のこもった」活動に繋がり、「楽しさ」や「仲間」を育むことでそこが「居場所」になり、それは地域の「交流の場」となります。



「関心」のある活動に参加するには、まず「ノリ」が大事！という感想もありました。「特技」は活動を始める強みになります。また、始めてからでも「学びや講習」で必要な知識や技術を身につけることができます。

ある出店団体から参加者への呼びかけた言葉を紹介します。

「勇気ある参加は人生を変えることができる」皆さんも興味のあることから動き始めてみませんか。

<出店団体> 順不同

○楽喜(ラッキー)クラブ

○ゆずり葉の会

○国営アルプスあづみの公園

大町・松川地区 公園サポーターの会

○安曇野ちひろ公園 サポート隊

○細野集落営農組合

○花フェスタ 2019

(第 36 回 全国都市緑化信州フェア実行委員会)

○(株)セブン-イレブン・ジャパン

○北アルプス広域シルバー人材センター

○長野県長寿社会開発センター

大北地区 賛助会

○地域おこし協力隊

北アルプス地域サポーター

(北アルプス地域振興局)

○大北地域

社会福祉協議会・地域包括支援センター

○モーニングコーヒー

<参加者> 93 名



(公財)長野県長寿社会開発センター 大北支部